



令和3年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会

令和3年11月29日、栃木県総合文化センター特別会議室において関東地方整備局若林局長ほか県内直轄事務所長を含む役職者計10名、栃木県県土整備部田城部長ほか幹部職員計7名、栃木県建設業協会谷黒会長ほか副会長、各支部長、総務企画・技術・広報各委員長、事務局計22名が参集して意見交換会が開催されました。

関東地方整備局長、栃木県県土整備部長、栃木県建設業協会会長あいさつの後、関東地方整備局企画部石浜技術開発調整官の進行で、関東地方整備局の取組、建設産業行政の最近の動きについての説明、PRビデオの紹介を含む栃木県建設業協会の活動状況説明（入江副会長説明）、国から昨年度意見要望への対応状況説明の後、意見交換を行い、栃木県建設業協会からは次の意見要望を提出し国等の所見を伺いました。

議題1 公共事業予算の確保と地域社会の安定的発展について（山根副会長説明）

議題2 小規模工事におけるICT施工の対応をはじめとする生産性の向上について
（竹澤副会長説明）

議題3 新担い手三法発注関係事務運用指針の市町村等への普及について
（増淵副会長説明）

自由討議 発注関係事務運用指針の市町村等への普及について（谷黒会長補足意見）

自由討議 若手入職者確保のための資格取得制度の緩和について（金澤常任理事説明）

最後に、関東地方整備局笹川副局長が、熱心な意見交換に謝辞を述べ閉会しました。

